



交通安全ニュース

ふくいみなみ

第43号

令和7年8月

福井南交通安全協会 事務局／福井南警察署内 Tel.34-1283

ご挨拶



福井南交通安全協会
会長 奥村 清治

会員の皆様には、平素より当協会の事業運営に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、福井南交通安全協会石川道廣会長の後任として、会長に就任いたしました奥村清治と申します。
微力ではございますが、交通安全の実現と協会の発展に全力を尽くす所存でございます。前会長と同様、
どうかよろしくお願い申し上げます。

さて、令和6年中の福井南警察署管内の交通事故の発生状況ですが、死者数は3人(前年比+2人)で、
うち2人が65歳以上の高齢者でした。

総事故件数及び物件事故件数は前年より減少したものの、人身事故件数は前年より微増しました。

一方、県内の死者数は23人(前年比+3人)で、うち18人が65歳以上の高齢者でした。

- 死亡事故の特徴として、
- ▶ 全体の約8割が65歳以上の高齢者が占めていること
 - ▶ 車両乗車中の事故死者9人のうち3人がシートベルトを着用していなかったこと
 - ▶ 歩行中の事故死者8人のうち横断中の事故は7人、うち夜間歩行者は5人でいずれも反射材を着用していなかったこと
 - ▶ 自転車乗車中の事故死者は5人で、いずれもヘルメットは着用していなかったこと
- が挙げられます。
- また、主な課題として、
- ▶ 信号機のない横断歩道での一時停止率 34.7%(全国ワースト3位)
 - ▶ 高速道路での後部座席のシートベルト着用率 66.2%(全国ワースト5位)
 - ▶ チャイルドシート着用率 67.6%(全国ワースト9位)
 - ▶ 交通死亡事故に占める高齢者の割合 78.3%(全国ワースト3位)

▶ 自転車乗車中のヘルメット着用率 11%(全国ワースト16位)があります。

- 以上を踏まえ、令和7年度は、
- ▶ 高齢者の反射材着用
 - ▶ 信号機のない横断歩道での一時停止率向上
 - ▶ 全席シートベルト及びチャイルドシート着用率の向上
 - ▶ 自転車乗車中のヘルメット着用率の向上
- 等を浸透させる活動を推進します。

当協会では、悲惨な交通事故を一件でも防ぐために、今後も福井南警察署はじめ関係機関・団体と連携して交通安全諸対策に全力で取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましては、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



交通安全祈願祭



雪の日の安全見守り活動



新入学児童初登校日の安全指導



交通安全教室

主な活動の紹介

令和6年4月～令和7年3月

会員の皆様のご協力のもとに
福井市南地区での交通安全活動事業を
実施させていただいております。



交通死亡事故現場の点検活動



商業施設での広報啓発活動



交通安全茶屋



交通保安官任命式